

**GSXはキーウェアソリューションズのエンジニア150名を対象にAIセキュリティエンジニア教育を提供
累計500名へ受講提供でセキュリティ対応力・AIを活用した開発でのセキュリティ対応力強化を支援**

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区海岸1-16-1、代表取締役社長：青柳 史郎、証券コード：4417、<https://www.gsx.co.jp/>、以下、「GSX」）は、キーウェアソリューションズ株式会社（本社：東京都世田谷区上北沢5-37-18、代表取締役社長：三田 昌弘、<https://www.keyware.co.jp/>、以下、「キーウェア」）およびグループ企業に対し、インシデント対応・脆弱性診断・AIセキュリティ人材育成など複数の教育プログラムを提供することで、キーウェアにおけるサイバーセキュリティ人材の育成とセキュリティサービス提供力の強化を継続的に支援しています。

キーウェアはシステム開発を中心に、ITインフラ構築や運用にも強みを持つSIerです。お客様のサイバーセキュリティ課題に応えるため、サイバーセキュリティ人材の育成およびセキュリティサービスの提供力強化を推進するとともに、AIを活用した開発力の強化に向け、開発現場におけるセキュリティ対応力の向上に取り組んでいます。2026年1月にもセキュリティ人材育成に関する取り組み（*1）を発表しており、今回の教育プログラム導入はそれに続く継続的なセキュリティ人材育成投資の一環となります。これにより、キーウェアおよびグループ子会社を含む累計受講者数は500名を超える予定です（*2）。

GSXは「サイバーセキュリティ教育カンパニー」として、企業のシステム開発や運用を担うSIerやIT企業に対してセキュリティ人材の育成を支援することで、日本全国のサイバーセキュリティ自衛力向上を支援してまいります。



*1. 2026年1月21日発表プレスリリース（全営業105名へのゼロトラスト教育、役職者へのCISO講座提供）

https://www.gsx.co.jp/news/pr/pr_2601_keyware.html

*2. キーウェアおよびグループ子会社含む累計受講者数（GSX集計）

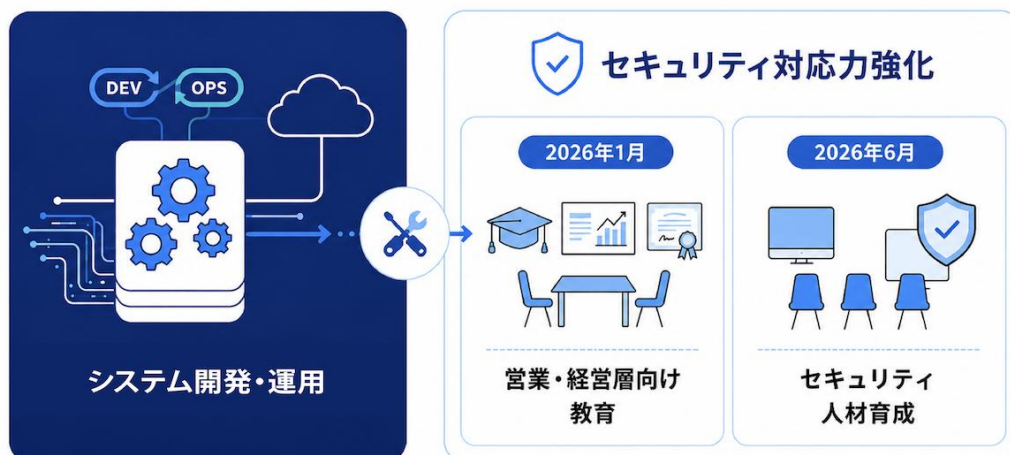
■ **キーウェアのサイバーセキュリティ人材育成とAIを活用した開発におけるセキュリティ対応力の強化を支援**

キーウェアは、システム開発を中心に、ITインフラ構築や運用にも強みを持つ独立系SIerです。近年、DXの進展やクラウド活用、生成AIの普及に伴い、企業のIT活用におけるセキュリティリスクは多様化しています。また、サイバー攻撃の高度化により、システム開発・導入・運用の各段階において、セキュリティを考慮した提案・設計・対応の重要性が高まっています。

こうした中、キーウェアはお客様のサイバーセキュリティ課題に応えるため、サイバーセキュリティ人材の育成およびセキュリティサービス提供力の強化を推進しています。あわせて、AIを活用した開発力の強化に向け、開発現場におけるセキュリティ対応力の向上に取り組んでいます。

GSXはこれまで、キーウェアおよびグループ会社のエンジニアに対し、システム開発やインフラ構築・運用におけるセキュリティの基礎知識や、脆弱性診断に関するスキルを習得するための教育を提供してまいりました。また、営業部門および役員・部門役職者に対し、サイバーセキュリティに関する提案力や経営視点での理解を深める教育も提供してまいりました。

今回は、キーウェアおよびグループ会社のエンジニア150名を対象にAIセキュリティ教育を提供し、生成AI活用に伴うリスクへの理解と、開発業務におけるセキュリティ対応力の向上を支援します。あわせて、DevSecOpsや脆弱性診断に関する教育も提供しており、これらの教育講座の提供を通じてキーウェアの取り組みを継続的に支援しています。



■ SecuriST[®]「認定AIセキュリティエンジニア」：エンジニア150名がAIセキュリティを習得

生成AIの普及により、AIに関連するセキュリティリスクへの対応が企業に求められています。キークウェアでは、同社グループ含むエンジニア150名が「SecuriST[®] 認定AIセキュリティエンジニア（エンジニア向けAIセキュリティ講座）」を受講し、AIセキュリティに関する知識・スキルを習得しています。習得した知識・スキルは、生成AIを活用する開発現場におけるセキュリティ対応力の向上と、セキュリティサービスの提供力強化に活かしていく方針です。

■ SecuriST[®]「実践的DevSecOps入門講座」：セキュアで高品質かつ迅速な開発を推進

急速なビジネス環境の変化や技術革新に応じたDXを実現するため、セキュリティを開発段階から組み込む考え方が重要になってきています。SecuriST[®]「実践的DevSecOps入門講座」を受講することで、CI/CDパイプラインにセキュリティを組み込む「シフトレフト」戦略に基づき、DevSecOpsの基本概念～開発スピードとセキュリティの両立の実務スキルを習得し、セキュリティを考慮した開発体制の強化を進めています。

■ SecuriST[®]「認定脆弱性診断士」：診断人材の育成により、診断サービス提供体制を強化

サイバー攻撃の高度化により、脆弱性診断の重要性は高まっています。キークウェアのインフラ&セキュリティサービス事業部は、実践的な認定資格講座であるSecuriST[®]「認定ネットワーク診断士」「プラットフォーム診断士」を受講することで、ネットワーク診断およびプラットフォーム診断の実務スキルを習得し、診断サービスの提供体制強化を進めています。

■ GSXが提供しているセキュリティ人材育成講座について

- SecuriST[®]「認定 AI セキュリティエンジニア」

認定 AI セキュリティエンジニアは、AI を「使える」だけでなく、攻撃を前提に AI を含むシステムを安全に設計・運用・防御できるエンジニアを育成する講座です。AI の基礎から業務活用、攻撃者／防御側の視点、ガバナンスまでを体系的に学び、AI を安心して業務に活かし、サービスの安全性を確保する力を身につけます。

https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/ai_security_engineer.html

- SecuriST[®]「実践的 DevSecOps 入門講座」

実践的 DevSecOps 入門講座は、DevSecOps の知識や技術を習得する認定資格講座です。アジャイル開発や DevOps のスピードを維持しながら、セキュリティを開発プロセスの初期段階から組み込む「シフトレフト」戦略を実践する方法を学びます。

https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/ai_security_engineer.html

- SecuriST®「認定脆弱性診断士」

認定脆弱性診断士は、情報システムのセキュリティテスト（脆弱性診断）の知識や技術の習得と、そのスキルを客観的に証明する国内初、唯一の認定資格です。「認定 Web アプリケーション脆弱性診断士」「認定ネットワーク脆弱性診断士」の 2 コースがあり、企業の情報セキュリティ対策に必要な脆弱性診断士の育成を目的に開発された教育カリキュラムです。

<https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/webappnwsecuritytesting.html>

◆キーウェアソリューションズ株式会社について

社 名 : キーウェアソリューションズ株式会社
東 京 本 社 : 〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
代 表 者 : 代表取締役社長 三田 昌弘
資 本 金 : 17億37百万円 (2026年3月31日現在)
設 立 : 1965年5月10日
コーポレートサイトURL : <https://www.keyware.co.jp/>

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社

社 名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
東 京 本 社 : 〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー10F
代 表 者 : 代表取締役社長 青柳 史郎
証 券 コード : 4417
上場証券取引所 : 東京証券取引所グロース市場
資 本 金 : 546百万円 (2026年3月末)
設立 : 2000年4月 (グローバルセキュリティエキスパートへの商号変更日を設立日として記載)
コーポレートサイトURL : <https://www.gsx.co.jp/>

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【本リリース内容に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 経営管理本部 マーケティング部
TEL : 03-3578-9001 MAIL : mktg@gsx.co.jp